

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2012年2月

ISO/TC61(プラスチック) 2011年第60回年次国際会議開催状況

1. はじめに

第60回 ISO/TC61 (プラスチック) 年次国際会議は、9月25日～9月30日の6日間マレーシア・クアラルンプールの Hotel Istana で開催された。

参加者は20カ国から約200名で例年並みであった。アジアからの参加も昨年とほぼ同じ約140名で、日本からは、宮入裕夫団長(東京医科歯科大学名誉教授)をはじめとして61名が参加した。日本は10あるSCのうち3つのSCの国際議長および国際幹事を受け持ち、代行を含めたコンベナー8名、プロジェクトリーダー23名(コンベナー兼務4名)らが10のWGで活躍した。

議長は次のごとくである。

- ・ISO/TC61/SC11 および SC12 天昇電気株式会社 末松征比古氏
- ・ISO/TC61/SC13 (独)宇宙航空研究開発機構 石川隆司氏

2. TC61の構成

ISO/TC61には、表1に示すように10のSCと2つのWGがある。各SC下では、現在総数52のWGが活動している。幹事国は中国、議長国はドイツであり、参加P-メンバーは31カ国でO-メンバーは40である。また、保有規格数は625あり、現在105件の規格が開発中である。

表1 TC61の構成 (TC61: 幹事国 CN, 議長 DE)

SC	幹事国	議長	タイトル	WG数
WG 1	CN	US	カレトライター	
WG 2	CN	GB	環境がト	
SC 1	GB	US	用語	2
SC 2	ES	ES	機械的性質	7
SC 4	GB	GB	燃焼挙動	3
SC 5	DE	CH	物理・化学的性質	7
SC 6	DE	DE	耐老化, 薬品, 環境性	3
SC 9	KP	US	熱可塑性プラスチック	15
SC10	CA	空席	発泡プラスチック	3
SC11	JP	JP	製品	6
SC12	JP	JP	熱硬化性材料	4
SC13	JP	JP	複合材料及び強化繊維	2

US:アメリカ, CN:中国, GB:英国, ES:スペイン, DE:ドイツ, JP:日本
KP:韓国, CA:カナダ

3. 会議概要

会議は9月25日(日)に行われたエクスカージョンに続き、26日(月)から開催された。

10のSC下の52のWGの内40のWGは各々会議を開催し、各WGの課題を審議した。リーダー会議では全般的事項の審議を行い、最終日に行う全体会議では全決議の承認を行った。

2010年末でTC61の幹事及び議長、SC5及びSC9の幹事国を務めたアメリカがこれらを辞退したことから、2011年1月からTC61幹事国は中国に、TC61議長はドイツに変わり、今回の会議ではTC61議長は新任のDr. Hurbert Simonが務め、TC61幹事は新任のMr. Wang Jiandongが務めた。(写真1)

また、SC 5 はドイツが、SC 9 は韓国が幹事国となった。

前はタイのバンコックとここ 2 年はアジアでの開催となったが、来年の第 61 回年次会議はヨーロッパ ス페인での開催予定で、9 月上旬であればマドリード、9 月下旬であればバルセロナが予定されている。

写真 1 Dr. Hurbert Simon (左側)
Mr. Wang Jiandong (右側)



4. 今後の方針

この会議には毎年日本から多くの専門家が参加しているが、今年も約 200 名の参加のうち日本から 61 名が参加し、日本の存在感を示している。

一方、プラスチック産業は既に成熟期の分野でありこれら標準化においても一段落した感がある。

しかしながら、最近 SC2、SC5 などの共通試験法の分野でドイツ及び韓国の活動が活発化している。これら試験方法は、多くのプラスチック材料の取り扱いに影響することから、これを放置すると結局我が国の産業にコストとして跳ね返る可能性があり、これを防ぐ必要がある。また、国際標準化では多くの人脈が重要な因子となる。このため今後もいままで築いた ISO/TC61 での日本の存在感を維持していく必要があると考える。

(以上)